

環境保全部会



おくうら夢のまちづくり協議会

3月22日(日)宮原展望所、堂崎天主堂入口、奥浦慈恵院跡地と跡地下、金子産業旧冷凍庫前の除草作業と、六方県道沿い街路灯周辺の伐採作業を行いました。

心配していた雨も降ることなく、日が照り付けるわけでもなく、作業がしやすい天気ではあったと思いますが、南北に長い奥浦の地形の約8割に及ぶと思われる、県道沿い約8Kmの大作業。

連休最終日という事もあり、観光バスが次から次に通る、大変な作業だったと思いますが、環境保全部会・地域振興部会・防犯防災部会の皆様、お手伝い頂き誠に有難うございました。



福江に自転車通学する学生を始め、住民の方たちが安心安全に生活出来るように、防犯防災部会の皆さんも頑張っておられます。

「おくうら夢のフラワーロード」 ～菜の花～



種蒔きの時期が少し遅かったせいか、少し背が低い菜の花となりましたが、無事、春の訪れをみなさまにお伝えすることが出来ました。



宮原展望所からの景色も違って見えますね。



時には機械作業。時には手作業。とても丁寧な作業、本当にありがとうございます。



2020 みんなでつくる奥浦 おくうら夢のまちづくり協議会

まち協 カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

総会 役員会	役員会開催予定
おくうら夢のまちづくり協議会	
地域振興部会	
防犯防災部会	
保健福祉部会	
環境保全部会	
体育文化部会	
民泊事業	



その他地区行事	その他の行事
平和のぼら保育園	
奥浦小学校	
奥浦中学校	
奥浦小学校教育会	
奥浦ジュニアバレーボールクラブ	



★月1回発行 長崎県五島市（奥浦地区）戸別配布

よかところ！おくうら 4月号

- ー もくじ ー
- おくうらの貝類図鑑 亀の手
- 奥浦地区の人口
- ～ 奥浦地区 ～
- まちづくり協議会研修会
- 特産品づくり事業 視察研修に行ってきました～！
- 環境保全部会 除草・刈込 作業中
- おくうら夢のフラワーロード ～菜の花～
- まち協力カレンダー

おくうらの貝類図鑑 亀の手

磯遊びに最適な、旧暦3月3日の節句潮。

ちょっとだけ過ぎてしまいましたが、まだまだ磯遊びは出来そうなので『亀ん手』取りはいかがですか？

その名の通り、亀の爪のようなゴツゴツと特徴的な見た目を持つ『亀ん手』。

エビやカニなどと同じ甲殻類の一種で、硬い殻をむくと、ピンク色の実と黒色の触腕が現れます。

見た目はグロテスクですが、茹でて食べることが出来ます。

食べる部分も少ないですが、海のミネラルや栄養素を多く含んだスタミナ食品で、ホタテと同じ成分でもあるコハク酸を多く含んでいるので、みそ汁などに入れると旨みがぎっしり。

体内に入るとクエン酸に変化して、エネルギー代謝の活性化や疲労回復、滋養強壮に貢献してくれるんですよ。

奥浦地区の人口 (R2. 2. 29現在)

<総数> 987人

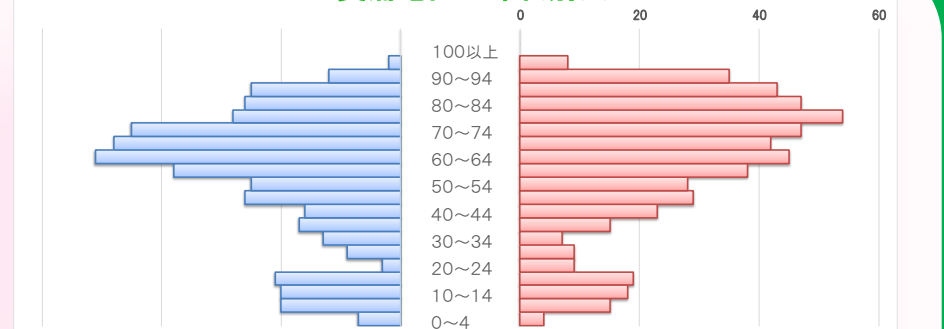
(先月人口総数よりー4)

前年2月末：998人

世帯数：570世帯

平均年齢：56.81歳
高齢化率：44.76%
(+0.29) ※ () は前月比

奥浦地区の年代別人口



年齢	0～10歳未満	11～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男	27	41	12	30	42	63	99	73	51	14	0	452
女	19	37	18	22	52	66	87	101	90	43	0	535

奥浦地区 まちづくり協議会研修会



【講師】

＜ 新潟県 ＞
都岐沙羅
パートナーズセンター
理事・事務局長
さいとう ちから
斎藤 主税氏

2月24日（月・祝）奥浦地区公民館2階ホールで、「将来を見据えたまちづくり協議会のあり方を考える」をテーマに『奥浦地区 まちづくり協議会研修会』が行われました。

まず、講師の斎藤主税氏より、なぜ、まちづくり協議会（小規模多機能自治）が今の時代必要なのか？今後の地域の将来はどうなるのか？を説明頂きました。そこで、重要視されるのが住民アンケート。

それも、世帯アンケートではなく、世代ごとの意見が反映される全住民アンケートである。

何故ならば、世帯アンケートでは埋もれやすく見過ごされやすい真実、若い世代や学生の貴重な意見に目を向けることが出来るから。

この研修を受けられた参加者より、全住民アンケートは重要であり必要であるとの意見を頂きましたので、今後、奥浦地区でも全住民アンケートを行い、貴重な意見の発掘に取り組んでいきたいと思っています。

その後、現在おくら夢のまちづくり協議会で取り組んでいる「特産品づくり活動事業」の、今後の展開について考えていきました。

手法としては色々あるそうですが、世代を超えたまちづくりや、介護予防、健康促進に繋がり、高齢者の活力となる取り組みの方法を教えて頂き、手応えある回答に参加者の方々も大変満足されたようです。



貴重な3連休の最終日、奥浦の事を真剣に考えて頂き有り難うございました。皆様から頂きました、貴重なご意見は、今後の活動に役立てて行きたいと思っています。皆様、お疲れ様でした。

地域振興部 特産品づくり事業 視察研修に行ってきました～！



＜ 諫早市高来町 ＞
農業生産法人
有限会社たかき
代表取締役
松永 孝典 氏



轟街道ふれあい市

ただのビニールハウスではありません。ビニールハウスのお食事処と、プレハブの厨房です。



「幻の高来そば 食事処」

2019年、クラウドファンディングで支援を受けて、2003年より運営していた、地元農産物や加工食品を直販する「轟街道ふれあい市」の隣に、食事処と厨房を開設。

2月17日（月）・18日（火）地域振興部の5名が、そば研修の為、諫早市高来町にある「有限会社 たかき」を訪れました。

現地では、代表取締役の松永孝典氏より、古くから伝わる希少種「幻の高来そば」についての説明をもらいました。

その後、昼食に「幻の高来そば」を頂き、農機具や畑の見学。規模の大きさに圧倒しましたが、奥浦でも活用できそうなところもあるので、出来ることから取り入れて行きたいと思っています。



出来ることは、やってみよう!! 隅から隅まで見させてもらいました。

広大な敷地、規模の大きさにびっくりです。

温度・湿度管理の大切さを学びました。



水はけは、とても重要な作業だそうです。

